

令和7年
2025年

10月28日
火曜日

第11822号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年8月19日
第3330号（創刊号）

購読料（税別）
年間 82,080円
（税込）
6ヵ月 42,120円
（税込）

※日本郵政特准第100号
「食肉速報」は新聞類に分類される

【発行所】株式会社食肉流通社

<https://www.shikururiky.co.jp/>

東京本社

〒107-8321 東京都千代田区神田2-14-10
TEL:03-6276-0929 FAX:03-6276-0928

大阪本社

〒552-0825 大阪府大阪市東淀川区3-1-10
TEL:06-6539-5925 FAX:06-6539-5519

九州支局

〒807-2029 福岡市神奈川区白旗町3-12
TEL:092-271-7916 FAX:092-271-2995



なんつねが創業100周年記念祝賀会を開催……P2～3

▶ なんつねが創業100周年記念祝賀会をリッツ・カールトン大阪で開催、関係者多数が参集し、華やかに執り行われる……P2～3

▶ リトアニアで鳥フル、家禽肉等輸入一時停止……P3

▶ 伊藤ハム米久ホールディングスが業務用商品発表会を開催③……P4

▶ [外食産業市場動向・9月] 焼き肉は前年同月比7・3%減……P5

▶ 第10回京都肉祭開催、来場者で各ブースに長蛇の列……P6

▶ 【輸入副生物現物相場】白物の動きはやや良化、BBQ向け需要も後押しし、焼き材も例年より堅調……P6～7

▶ [POSランク9月ベーコン製品]「朝のフレッシュ ハーフベーコン」が首位……P7

▶ [POSランク9月焼豚製品]「燻工房 焼豚切り落とし」が首位……P7

▶ からやま「とり天合盛り定食」期間限定で登場……P7

▶ ベーコン製品9月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P8

▶ 焼豚製品9月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]27日……P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]27日……P11

注目のヘッドライン

なんつねが創業100周年記念祝賀会を
リッツ・カールトン大阪で開催、関係者
多数が参集し、華やかに執り行われる

…詳細はP2～3

伊藤ハム米久ホールディングスが業務用
商品発表会を開催③

…詳細はP4

 **Nipponham Group**
たんばく質を、もっと自由に、

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —
 **花木工業株式会社**

〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5
☎03-3834-1661 <https://hanaki-eng.co.jp/>

なんつねが創業100周年記念祝賀会をリッツ・カールトン大阪で開催 関係者多数が参集し、華やかに執り行われる

食肉加工機械製造大手のなんつねは24日、大阪市北区のザ・リッツ・カールトン大阪で創業100周年記念祝賀会を開催。食品機械、小売、流通業などの関係者多数が参集し、華やかに執り行われた。

なんつねは1925年(大正14年)の創業以来、食肉加工機械の製造・販売を行ってきた日本の食肉機械製造のパイオニア。同社の歩みは、そのまま日本の食肉加工機械の発展の歴史でもあり、フロントランナーとして業界をリードする中で、近年は商品企画から食肉製造ラインの提案、生産性向上に向けたコンサルティングに至るまで一貫通貫に手掛ける、機械メーカーにとどまらない食品工場におけるトータルソリューションカンパニーとして業容を広げている。

祝賀会では主要クライアント、パートナー企業をはじめとする関係者多数が出席。式典の冒頭、登壇した南常之社長(上写真)は「当社の歴史は1925年、創業者である南常治郎が南常刃物工作所を創業し、刃物職人として独立したことから始まった。天才的な刃物職人であった常治郎は、オランダのハムスライサーに使う丸刃の制作依頼を受けたことを機に、将来、日本人も肉をたくさん食べる時代がやってくると確信し、29年、日本で初めての食肉スライサーの開発・販売を開始した」

「その後、常治郎は54年に2代目社長の常男に事業継承すると大阪・八尾に安国寺を建立。僧侶の道を歩んだ。私もその教えを受けて昨年、得度した。2代目は、数多くの食肉スライサーのヒット機を売り出し、全国に販売代理店網を広げること成功した。本日も、長年支えていただいている販売代理店の皆さまに出席いただいている。そして、86年には中国北京に工場を建設。当時は、中小企業はもとより、パナソニックですら中国に進出する前の時代だった」

「89年には父である幸次郎が3代目社長に就任。関東圏での販路拡大や海外展開を積極的に推し進め、99年には韓国南常を設立し、さらに社業を発展させた。しかしながら、これから事業拡大を目指す58歳という若さで不慮の事故により急逝。2010年から私が社長を務めさせていただいている。

これまでの、食肉スライサーの製造・販売が中心



になっていたが、食を生み出すプロセスに貢献するというミッションの下、食品機械販売に加えて、オリジナルのソーセージなどの商品企画や食品工場のレイアウト提案などを通じて、顧客の利益創造に貢献をしている」

「このように、100年にわ

たって事業が継続できたのは、ひとえに当社製品を使ったださるお客さま、そして製品作りに尽力いただいている関係各位のご支援のたまものだ」

「なんつねは、これから101年目に向かっていく。200年、300年と続く企業に成長していくためには、数ある社会課題の何に目し、どのように解決するかが肝要。これからも当社はお客さまへの貢献を通じ、引き続き社会課題の解決に尽力していく。今後も変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げる。本日は創業者常治郎の生誕125年目という節目の日でもある。創業者が大切にしていた、周りから受けている恩を知



り、その恩に報いるという“知恩報恩”を改めて胸に刻みたいと思う」とあいさつ。

その後、来賓祝辞として大川原行雄一般(株)日本食品機械工業会会長(株)大川原製作所社長=左頁上から3番目)、フクシマガリレイ(株)の福島豪社長(右上写真)、岡田一樹藤井寺市長(右下写真)がそれぞれの立場から次の通り祝辞を述べた。

大川原会長「(FOOMA JAPANを主催する)食品機械工業会は創立77周年で正会員、賛助会員合わせて523社の大所帯だが、南社長には副会長を務めていただいている。昔、なんつねの2代目社長の常男さんが日食工の副会長を務めていた頃、会に青年部が作られ、私もその一員となり、あいさつに伺ったところ、“頑張れよ、お前たちがやるんだぞ”と激励されたことを思い出す。南社長には今後も率先して業界を引っ張っていただき、日食工が100周年を迎える時にも、今日のような立派な会が開かれるようにしていただきたい」

福島社長「創業期から食文化も流通も、モノ作りの形も大きく変化してきた中で、食肉加工機械のトップメーカーとして、技術だけでなく、食の安全、現場の声に正面から向き合い続けてこられた。歩んでこられた100年は、戦後の混乱、高度経済成長、バブル崩壊、リーマンショック、コロナ禍と幾度となく困難に直面しながらも、そのたびに現場を信じ、人を信じ、技術を信じて乗り越えてこられた歴史。これからもその背中で私たちの業界を引っ張り続けていただき、後輩として、仲間として、ライバルとして、その背中を全力で追いついていきたい」

岡田市長「藤井寺市として、市内の商工業発展、雇用促進、さまざまな形で協力を賜っている。先日、市役所にお越しいただいたが、食の未来に対して情熱を持って取り組まれていることを改めて感じた。藤

井寺市は大阪で一番小さな市だが、大阪唯一の世界遺産である百舌鳥・古市古墳群を擁している。古墳の中には多数の埴輪が発掘されているが、埴輪を作った当時の技術者集団は、

(なんつね本社が位置する)土師ノ里周辺に住み住んでいたとされる。改めてそうした古代から根付く歴史とも関係があるのかと思いを馳せるところだ。先日、大阪・関西万博が閉幕したが、大阪は未来社会に向けて発信・発展をしていくところであり、本日のこの節目を機に、ますます世界に向けて羽ばたいていけることを祈念申し上げる」

その後は、(株)平井カンパニーの平井正生取締役会長の乾杯発声で祝宴に。同社のこれまでの歩みなどを紹介するプロモーションムービーをはじめ、まぐろの解体ショーや、お笑いタレントのさや香の漫才などが披露され、華やかな雰囲気のまま盛況のうちに閉会した。



リトアニアで鳥フル、2州から家禽肉等輸入一時停止

農水省動物検疫所は24日、リトアニアのクライペダ州とテルシェイ州から日本向けに輸出される家禽肉等の輸入を一時停止していると発表した。15日にクライペダ州の家禽飼養施設において高病原性鳥イン

フルエンザの発生を確認、また、同州の制限区域が、隣接するテルシェイ州に及ぶことが確認されたことによる措置。